注：網掛け部分は、ガイドライン(★)および例（※）です。提出時には削除して下さい。その際には、意図しない網掛け部分が残らないよう、ご注意下さい。　概要集作成の都合上、ページレイアウト（余白等）は変更しないで下さい。
(C)2013-2015 日本SPIコンソーシアム

**SPI Japan 発表概要**

* 発表概要は日本語で作成して下さい。

<タイトル>

* （この項目は審査後には変更できません）

<サブタイトル>

* あれば記載して下さい。（この項目は審査後には変更できません）

<発表者>

* 筆頭著者、提案者（この項目は審査後には変更できません）

 氏名（ふりがな）：

 所属：

<共同執筆者>

* いれば記載して下さい。複数指定可。

 氏名（ふりがな）：

 所属：

<要旨>

* この発表で主張／討論したいところを要約して下さい。
* 150～250文字で、箇条書きを避けて下さい。

<キーワード>

* 下記<発表内容>欄に記述した用語（又は用語の組合せ）の中から、5個以上20個以内でキーワードを選択して下さい。（できれば章ごとに１個以上。重複する場合は一回のみ記載）
* 活動を特徴付ける用語、又は用語の組合せであり、以下のような利用を想定して選択して下さい。

（※）下記の「想定する聴衆」が発表概要集（全ての発表概要を集めたもの）から全文検索等で本発表にたどり着きやすくするための検索語として使用します。

<想定する聴衆>

※ 高成熟度組織の方、SEPG初心者、品質保証の方、ソフトウェアエンジニア、など

<状況>

 □ 着想の段階（アイデア・構想の発表）

 □ 変更を実施したが、結果はまだ明確ではない段階

 □ 変更の結果が明確になっている段階

 □ その他（　　　　　　　　　　　　　　　　）

<発表内容>

* 説明はテキスト形式を中心とし、1000文字以上お書き下さい（スライド貼り付けなど図表形式を中心とした記述を避けて下さい）。また、特殊記号・機種依存文字の使用は避けて下さい。
* 図や表を挿入する場合には、図表とは別に、テキスト形式で番号とタイトルを付けて下さい。
* 発表時点で実施範囲外などの場合は、その章にその旨をお書き下さい。独自の章を追加していただいても構いませんが、既定の章は削除しないで下さい。
* 発表内容の性格上、全体として以下の章立てを適用しにくいトピックスの場合は、事前に「提出先」宛てにご連絡下さい。個別にご相談させていただきます。

1.背景

* 本発表の対象となる活動に取り組んだ主体（※）、動機・目的、上位組織の目的、前提、動向など。

※ 主体の例：個人、チーム、プロジェクト、組織、企業、あるいは団体

2.改善前の状態

* 「1」で記述した「背景」のもと、改善の対象として取り上げた状況や問題あるいは症状など。
* および、それを解決することで想定・計画される期待効果。

3.改善前の状態をもたらした原因（因果関係）

* 「2」で記述した「改善前の状態」をもたらしていると最終的に判断した事象や原因（例えば、あるプロセス）。一つ以上の事象や原因が関連している場合もある。
* および、それらの事象・原因を洗い出し・選定・特定した方法。

4.計画した変更内容

* 「3」で記述した『事象や原因』の変更後の姿として、事前に想定・計画したもの。
変更には、「既存のものを変える」「既存のものを廃止する」「新しいことを追加する」等の場合を含む。
* および、それらを選んだ理由。

5.変更の実現方法

* 「4」で記述した「計画した変更内容」を実現するために実施した具体的な活動。
* および、工夫した点や、苦労した点。

6.変更後の状態や改善効果

* 「5」で記述した「変更の実現方法」を実施したことによる変化状況（状態）。
* 「2」で記述した「期待効果」のうち実現できたこと。
* および、効果が偶然ではないことを示すための測定方法と検証結果。

7.改善活動の妥当性確認

* 「1」で記述した「背景」を踏まえて、活動全体を分析し、変更内容および実現方法の妥当性、費用対効果、残存課題、副次効果などを確認した結果。

【発表概要テンプレートに関するアンケート】　このテンプレートの改善のため、アンケートにご協力をお願いします
発表概要と同一ファイル上に追記していただければ、プログラム委員会側で分離します。

質問１：記入しにくい項目と、その理由をお書き下さい。

質問２：その他、ご意見・ご要望があればお書き下さい。